

梅窓院通信

十夜号

No.49
2010/10/01

青山

梅窓院から望む幻想的な満月

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島真成

今年はずい夏になりましたが、皆さまお元気で、お変わりなくお過ごしでいらっしやいますでしょうか。

猛暑、熱帯夜、酷暑という言葉が日常語になった今夏ですが、幸いにも梅窓院のお墓参りで熱中症や具合の悪くなった方はひとりもいらっしやらず、住職としては一安心というところ です。

山門脇の冷房のきいた休憩所には冷たい麦茶を用意しております。また、墓地の各所にも休憩所を設けてありますので、そうしたお休み処も少しはお役に立っていたのかと思っています。

それに、暑さがおさまる夜にお参りする方も多くなったようです。当院の受付時間は午後七時三十分までですが、一晩中墓地への出入りはできますので、ご先祖さまにお会いしなくなった時はいつでもお参りができます。

さて、墓地管理費の改訂のお願いの件ですが、詳しくは本紙の八面で経緯も含め記しました。

この挨拶でも重ねてお知らせしてきましたが、整備された墓地を維持し、また高齢化に向けての人的サービスなどで、よりお参りしやすくするためにお願いさせていただく改訂です。本紙がお手元に届いた後に、皆様にそれぞれの改訂の額をお知らせいたしますので、ご理解、ご協力いただきますよう、お願い致します。

「墓地管理費改訂のお願い」が8面に掲載されています。必ずご覧下さい。

十夜法要

芋煮会

日時：十一月二十日（土）

十夜法要

午後四時～ 本堂

法話

法要終了後～ 本堂

講師 佐藤 隆常 上人

芋煮会

境内・観音堂エントランス



平成21年度、十夜法要の様子。

十夜によせて

一億の人に一億の母あれど

わが母にまさる母あらめやも

あけがらす
暁鳥 敏

先日、友人の母が極楽往生されました。結婚が決まった頃、末期癌が発見され、式当日にはかなり進行していました。その友人は尼僧であり、父が先に亡くなった為、母が住職をされていました。そんな中での結婚。後継者も決まり、住職である母の喜びはいかばかりであったでしょうか。しかし、式で精一杯、とても披露宴は出席できない状況であったため、母への感謝の手紙はありませんでした。母として、住職としてもお寺の仕事を一から教えて貰ったことなどを思えば、冒頭の詠のような心境だったことでしょう。

さて、私たち念仏する者と阿弥陀様は、親子のような関係であると説かれます。このことを親縁と呼びます。私たちが父や母を思い、呼べば応えてくれ見守ってくれるように、阿弥陀様も南無阿弥陀仏と名を念じ、称えれば聞いて下さり見守って下さっています。まるで千の風のようにですね。いついかなるときも、仏様が、亡き親が見守ってくれていることを忘れずに生活したいものです。このお十夜の御縁に阿弥陀仏を念じ、私たち全てを温かく見て下さる、仏様、親様の温もりを身近に感じてみませんか。

（法務）

芋煮会

今年度より、原則として法要に参列された方のみ芋煮をふるまわせて頂きます。ただし、遅れてきたご家族の方にも芋煮のふるまいをさせていただきますので法要に参加される際、法要受付に必ずお立ち寄り頂きご相談下さい。
ご家族お誘い合わせの上で参加下さい。



ご注意

今年度から法要に参列された方のみになります。

今年も熱々の芋煮を用意しております。



活動報告

青南小学校生徒訪問 7月9日(金)



「南青山名人になろう」というテーマ学習で梅窓院へ来てくれました。皆さん熱心に質問をし、仏教に触れていました。

郡上市・港区中学生体験研修 8月9日(火)



郡上市・港区の交流事業の一環として中学生の皆さんが、ご僧侶と商店街の方に港区と郡上市の関係についてお話を聞きに来られました。

たか た

高田なみ特別ライブ

今年もシンガーソングライターの
高田なみさんの特別ライブを
開催します！

●●●プロフィール

透明感溢れる歌声のシンガーソングライター。地元富山でヴァイオリンとのユニットSora(ソラ)を結成してからすぐにTVドラマの主題歌に抜擢され、北陸各地のイベントにも多数参加。2003年にメジャーデビュー後、2007年にはソロアルバムをリリース。一方で他アーティストへの楽曲提供も始め、自らのライブ・制作活動にもJazzやPopsなど幅を広げつつ精力的に取り組んでいる。



十夜回向に関するお知らせ

十夜法要では「塔婆」と「短冊」のご回向が選べます。それぞれ申込方法・料金が異なりますのでご注意ください。

またご回向は「〇〇家先祖代々」のみとさせていただきますのでご了承下さい。

塔婆回向一霊 七〇〇〇円
短冊回向一霊 三〇〇〇円

○お申込方法

塔婆—同封葉書に記入の上、十一月十一日必着でお申込下さい。

短冊—同封の「書き方例」をご参照下さい。

○お支払方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払頂くか、**当山受付**までお持ち下さい。銀行・コンビニでの支払は出来ません。

ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下さい。

特集

ぐじょうはん りょうそうたい
郡上藩凌霜隊

今も伝わる凌霜のこころ

— 郡上藩凌霜隊一四〇年記念事業開催 —

平成二十二年七月二十八日、郡上藩凌霜隊が謹慎を解かれて一四〇年目にあたる今年。記念事業が郡上市で開催されました。午後二時より城山中腹に建立されている凌霜隊慰霊碑前で慰霊祭が行われ、岐阜県郡上市総合文化センターで講演会とフォーラムが行われました。

凌霜隊とは聞き慣れない名前かもしれませんが、明治維新の戊辰戦争で、徳川方についた郡上藩の有志四五名の呼び名です。

同じように徳川方についた会津の白虎隊は青少年で構成され、かつ自刃したことで有名ですが、凌霜隊も凌霜という言葉は今に残す、郡上では現在に語り継がれる有志たちです。そして、その子孫が何人も梅窓院の檀家となっています。

今回はその慰霊祭、記念講演会とフォーラムの模様をお届けし、凌霜隊の豆辞典を特集します。

■ 郡上藩凌霜隊140年記念事業タイムテーブル

14:00～〈慰霊祭〉

〈居合術および凌霜隊詩吟剣舞奉納〉

会 場：城山中腹慰霊碑前

15:30～〈記念講演会〉

演 題：「伝え聞く郡上藩凌霜隊」

講 師：田代芳寛氏（塩原温泉 和泉屋旅館 栃木県）

〈フォーラム〉

会 場：郡上市総合文化センター



フォーラムが行われた会場のエントランスホールには凌霜隊の紹介パネルが展示された。



奉納された凌霜隊詩吟剣舞。



慰霊碑の前での記念写真。参加者が中央の青山 氏、 夫妻を囲むように並んだ。左端が 郡上市長。



地元の各宗派の僧侶による 供養の読経が響き渡った。

『郡上おどり』この全国的に有名な伝統芸能と同様、岐阜県郡上で忘れてならないのが、凌霜隊です。

薩長連盟と旧幕府で戦われた戊辰戦争、徳川方についた武士も少なくありませんでしたが、会津戦争で幕府の応援に駆け付けた中で、唯一組織的にまとまっていたのが、凌霜隊でした。そして、その歴史を今に伝えようというのが、今回のこの記念事業です。

慰霊祭では地元元悟竹院の 住職 導師のもと法要が執り行われ、郡上の 市長をはじめ参加者が焼香して霊

隊長の剣術の流れを汲む 氏による居合術および凌霜隊詩吟剣舞が奉納されました。

その後、会場を移した記念講演会では凌霜隊が栃木県塩原温泉で長期逗留をした和泉屋旅館の 代表が講演。同旅館にとっては大恩人となる凌霜隊について幅広い角度からお話しされました。

続いてのフォーラムでは凌霜隊の子孫十名を含む関係者十七名が壇上に入り、それぞれが凌霜隊への想いなどを語りました。

郡上藩主青山家十四代後見人である青山 氏が凌霜隊子孫に「お帰りなさい」と労をねぎらう言葉をかけると、十名の子孫たちが、あたかも当時の凌霜隊員にもどり、郡上藩の殿様からその功績を認めてくれたかのように、安堵した晴れやかな顔となりました。

凌霜隊の子孫が墓苑に眠る梅窓院の中島真成住職もそのやりとりを感慨深げに見つめていました。



郡上青山家の紋

どひよう

青山家に先祖代々伝わる金の弩標と葉菊の紋です。弩とは大弓のことで、標の字は徳川家から授かったことを意味しています。葉菊は霜を凌ぎ美しく咲く菊の花で、この精神が郡上の人々に伝えられています。郡上おどりの「かわさき」の歌詞にも歌われています。



フォーラムで壇上から凌霜隊について話す中島住職。



凌霜隊の子孫と郡上藩の殿様が一堂に会したフォーラムとなった。

Q1 凌霜隊って？

慶應四年（一八六八）四月十日、朝廷方（官軍・新政府軍）にくだった幕府方（賊軍・徳川方）が江戸城無血開城する前夜、江戸から脱走し徳川の陸海軍将士や譜代諸藩と共に戦った郡上藩の藩士四五名のことを言います。



Q2 どうしてつくれたの？

郡上藩江戸屋敷にいた家老の朝比奈藤兵衛が殿様である青山家と徳川家との縁などを考えて隊を結成しようですが、徳川方につきたいという藩士の強い希望もあったようです。

Q3 誰が隊員になったの？

朝比奈家老の息子で弱冠十七歳の朝比奈茂吉が隊長となり、副隊長以下、坂田林左衛門（五十二歳）をはじめとした郡上藩士三十九名と小者八名が隊員になりました。



朝比奈茂吉

Q4 何をしたの？

幕府軍に味方して、薩長を中心とする朝廷方と戦いました。ちなみに戦争が始まった明治元年の干支から名前がつけられたのが戊辰戦争で、鳥羽・伏見の戦い、上野の戦い、会津の戦い、五稜郭の戦いなどの総称です。

Q5 どこで戦ったの？

江戸城を出てから小山、宇都宮、大内など六か所で戦い、最後は会津で白虎隊と一緒に戦いました。

■凌霜隊進行図（×：戦闘地／（ ）：月日）



■凌霜隊士一覧

役職	隊士名	年齢	役職	隊士名	年齢	
隊長	朝比奈 茂吉*	17	隊員	斎藤 巳喜之助	24	
副隊長	坂田林左衛門	52		浅井 晴次郎	22	
副隊長兼参謀	速水 小三郎	47		牧野 平造	30	
隊員	医師	小野 三秋		46	金子 勇次郎	41
	小出 於菟次郎	44		小泉 勇次郎	21	
	菅沼 銃十郎	42		土井 重造	36	
	氏井儀左衛門	41		石井 音三郎	20	
	中岡 弾之丞	25		山田 熊之助	24	
	尾嶋 左太夫	37		白岩 源助	37	
	田中 亀太郎	29		斎藤 弥門	41	
	桑原 艦次郎	23		中村 國之助	25	
	松尾 才治	26		山田 惣太郎	22	
	山脇 金太郎	17		野田 弥助	28	
	武井 安三	44	安村 敬三郎	23		
	売間 直次	33	岸本 伊兵衛	41		
	米沢 小源治	34	林 定三郎	25		
小者	岡本 文造*	39	孫太郎			
	矢野原 与七	39	源 蔵			
	中瀬 鐘太郎*	22	藤 平			
	鈴木 三蔵	35	久 七			
	池尾 幾三郎	26	久次郎			
山片 俊三	35	小三郎				
山脇 欽橘*	20					

■梅窓院で葬儀を行った記録のある方。 *梅窓院檀家

梅窓院にて葬儀の記録があるのが9名、現檀家が4名です。

Q6 和泉屋旅館との関係を教えてください？

塩原では三日月間和泉屋旅館に滞在しました。

会津藩の命令は塩原を焼き払って会津に向かえというものでしたが、凌霜隊はお世話になった旅館を焼き払えずに、解体して再建できるようにしました。和泉屋旅館はその恩義を今も感じています。

また、妙雲寺というお寺も同様に凌霜隊のおかげで焼失を逃れました。臨済宗のお



凌霜隊が塩原の戦いで長逗留した和泉屋旅館。今回の記念事業で和泉屋旅館の代表が講演された。

寺ですが、後日、郡上で牢屋に入れられていた凌霜隊を助ける働きかけをしてきています。

直接戦争とかかわりのない人たちにやさしい手を差し伸べた凌霜隊。そしてそのやさしさを忘れずに凌霜隊を助けた人たち。義理と恩義の心あたたまる話です。

Q7 凌霜隊は勝った？ それとも降伏したの？

会津城での戦いで、会津藩が降伏し、それと同時に凌霜隊も降伏しました。朝廷方につかまり、江戸経由で郡上へ送られました。

郡上近くから凌霜隊は囚人が乗る唐丸籠に乗せられて、自分達の藩に帰り、牢屋に入られました。



Q8 どうして牢屋に入れられたの？

戊辰戦争に勝って官軍となった朝廷方からみれば、徳川についた賊軍は敵であり、悪者だからです。

ちなみに郡上藩では江戸屋敷で朝比奈家老が凌霜隊を結成した頃、郡上では鈴木彦左衛門家老が郡上藩としては朝廷方につくという決断をしていたようです。

ですが、どっちが勝つかわからない戦では、それまでもどっちが勝っても自分の血筋が絶えないように、敵味方の両方につく作戦は当たり前でした。凌霜隊にもそんな背景があるということも言われています。

Q9 最後はどうなったの？

郡上の赤谷にある揚屋(牢屋のこと)に入牢となった凌霜隊は長敬寺に移され、明治三年(一八七〇)二月十九日に謹慎が解かれて自由の身になりました。ですが、世間の冷たい目に隊員のほとんどが郡上を離れました。



会津城から車で約5分ほどの飯盛山の山腹に、その功績から会津藩以外で唯一建てられた凌霜隊の慰霊碑がある。

Q10 凌霜隊の精神が今に残っているのはなぜ？

凌霜隊が解散して七十年経った昭和十二年、郷土再興のための人材育成を目的にした凌霜塾が結成されました。会津戦争で白虎隊と全く同じ行動をしながら、白虎隊が義戦をたたえられたのに対し、賊名を着せられて空しく散った凌霜隊への想いが今に続いているのです。ちなみに、会津の飯盛山には凌霜隊之碑が建立されています。

Q11 子孫は何人残っているの？

正確な数はわかりません。ですが、隊員のうち九人が梅窓院で葬儀を行ったという記録が残っています。また、子孫で今でも梅窓院の檀家でいらつしやるのが、わかっているだけで隊長の朝比奈家をはじめ四軒あります。

※この記事をお読みになって、「ご自分の祖先が凌霜隊と関係があると思われる方がいらつしやいましたら梅窓院へご連絡下さい。」

墓地管理費改訂のお願い

前号にて皆様にはお知らせしていますが、来年度より墓地管理費(墓地使用者から墓地面積に応じて負担いただく費用)の改訂を行います。12年間据え置いていた管理費の改訂になります。すでに総代会、役員会での決議は済んでおりますが、その理由や経緯などをお知らせし、皆様のご理解、ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

改訂の理由

- 平成15年以降からの小型墓地新設で管理費の見直しが必要となりました
- 管理費支出における管理費収入の占める割合をあげることにしました
- 墓苑内の共用部分の修繕費用の積立が必要となりました(余剰金の活用)
- 墓参における高齢化に伴う人的サービス向上をはかることにしました
- 梅窓院墓苑全体の品位を維持していくことにしました

改訂の流れ

- 墓地区画の変化にともなう管理費の見直しが必要となりました
- 管理支出と管理費収入のバランスを見直しました
- 管理費適正額を検討し新管理費を設定しました
- 総代会、役員会で検討、協議を重ねた結果、決議(平成22年3月、5月)させていただきました
- 檀信徒の皆様には以下のようにお知らせさせていただいております
「平成22年会計報告書(『青山』47号に同封)、同48号、孟蘭盆会と秋彼岸法要」

【今後の流れ】

- 各家の新管理費のご案内を発送いたします(10月末～11月上旬予定)
- 檀信徒の皆様からご意見、同意書面のご提出をお願いいたします
- 新管理費での「納付のお願い」を発送いたします(平成23年2月予定)

改訂管理費の詳細

- 0.25平方メートルにつき、年額2400円の管理費とさせていただきます
※従来の管理費は1平方メートルごとに年額3000円というスライド式でした
- ご希望により分割による納入も可能とさせていただきます

墓地管理費の用途

- 共用部分(墓苑内参道など)の清掃、修繕など
- 植栽の手入れ
- 休憩所、水場などの施設の清掃、管理
- 夜間センサーライトの維持
- その他(将来の大規模修繕等に備えるための積立など)

ご先祖様のお参りをいつまでも気持ち良く続けられるための改訂です。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

発行 行 / 梅窓院
発行日 / 平成22年10月1日
発行人 / 中島 真成
編集 / 青山文化村
住所 / 〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話 / 03-3404-8447
FAX / 03-3404-8446
ホームページ / <http://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail / jodo@baisouin.or.jp
題字 / 中村康隆前浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡



十一月二十日(土)
法要 / 特別ライブ / 芋煮会
法要開始 午後四時
午後四時

十夜法要



十一月十三日(土)
開場 午後三時
開演 午後四時
※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

ファン・デン・ブック
ピアノリサイタル

行事予定